



新たな半世紀へ、

東京鶴丸会の益々の発展を祈ります

東京鶴丸会会長

榎田 卓央 (32 回卒)

今年もみなさまに総会懇親会のご挨拶を申し上げる時期になりました。会員の皆さま、お変わりございませんか？昨年、東京鶴丸会は五十回目の記念すべき総会・懇親会を開催いたしました。多くの方々のご指導とお力添えを頂きながら、記念行事と総会懇親会を実施することが出来ました。37 回卒の幹事学年も、鹿児島との緊密な連携をいかしながら運営に取り組み、大変思い出深い一年となりました。

前身の中、一高女、夜間課程の伝統を引き継いだ鶴丸高校の卒業生の強固なつながりに支えられた東京鶴丸会。遙か遠く離れた地から母校と故郷鹿児島に常に想いを寄せながら長きにわたってこの会を支えられた諸先輩方と同輩、次代を担う後輩のみなさまと、「卒業生」という共通の立場で相互の交流を深められる喜びと感謝の気持ちで一杯の年でした。

東京鶴丸会の将来へ向けた 財政健全化への取り組み…経過報告

昨年皆様にご報告・お願いをさせて頂いたように、財政健全化は、本部会計支出の見直しと年会費増額を含めた収入の見直し双方の取り組みにより、少しずつですが確実に進捗しております。第五十回の東京鶴丸会会計期間（二〇一五年八月一日～二〇一六年七月三十一日）は、本部会計単独での収支バランスが大きく改善されました。その概要のご報告を通しまして、皆様の収支の改善・安定に向けた活動の継続に対するご理解とますますのご協力をお願いいたします。

◆総会案内状の印刷・送付費用の削減
（一部 SNS 化、住所不明者・案内再送

た。各回の世話人の方々を中心に、一層の年会費納入会員の発掘をお願いいたしております。また一方で、支出面でも見直し作業にも取り組み、引き続き健全な財政状況を保つような仕組み作りにも取り組んだ次第です。さらに、運営面でも効率化に取り組み、幹事学年の負担を少しでも軽減できるシステムを構築いたしました。幸いなことに、これらの取り組みに会員の皆さまから温かいご理解を頂くことが出来ました。感謝を申し上げます。

関東地区の大学・大学院に在籍する鶴丸高校出身者の就職活動支援セミナー（鶴ナビ）や、現役鶴丸高校生のための先輩に学ぶ職場訪問（GO 鶴セミナ）の支援を主な公式活動としていますが、渋谷おはら祭りやゴルフコンペ、野球や剣道、そしてカラオケ等の共通の趣味を生かした集まり、もちろん同期会などの会員間相互の交流が、ますます活発に行われていることは誠に喜ばしく感じられます。これからも長く続くことを願うばかりです。

等（の最小化）：幹事学年の奮闘により、東京鶴丸会の SNS を立ちあげ、総会・懇親会の情報を特に若手に向けて逐次発信できるようになりました。総会懇親会の案内状未配達や再発送等の状況は、第五十回発送数五、再発送一通に対して、返送が二〇五通、再発送が五九通、合計一二、七三四円が通信費として余分にかかりました。方向性としては、無駄なコストは削減しながらも本来送付すべき会員の発掘と皆様への効果的な情報提供を目指し、案内状の電子データでの発信も含めて継続検討を行います。皆様のご協力による情報更新・登録をよろしく願います。

◆入金方法の拡大（銀行振込・インターネットバンキング）に伴うゆうちょ銀行振替手数料の削減：年会費及び懇親会費の事前振込方法に第五十回からは銀行（ネット）振込を選択肢とすることによって、事前振込一、〇七九人中八七人の方に銀行（ネット）振込いただきました。会員の皆様の利便性を向上しながら、わずかに九千円程度ではありますが振替手数料負担を削減できました。

◆年会費を千円から千五百円に値上げ（第五十回総会・懇親会から）：年会費の値上げにより年会費収入は一、九万五千円から一、八六万九千円と、支払い会員数増加分と合わせて約六七万円の収入増となりました。

◆寄付金の受け皿を通常で用意（専用口座※1）を開設：一、〇五、八七三円の寄付をいただいたために、東京鶴丸会の安定した運営のために継続して通年で寄付を受け付けていますので、よろしく願います。

◆年会費支払いの会員を増やす（そのための活動推進）各種広報、世話人による同回生への積極的働きかけ：年会費の値上げにもかかわらず、皆様のご理解で前年を上回る会員の方の年会費支払いをいただきました。理事会としては、今後も継続した情報開示・発信に努め、会員の皆様が満足できる会運営を通して年会費支払い者数の増加を目指して参ります。

※1…寄付専用口座
振込先…ゆうちょ銀行
店名…〇一九店（ゼロイチキョウ店）
店番…〇119 預金種目…当座預金
口座番号…03324223
口座名…東京鶴丸会理事会
個人で振込みの際には「卒回と氏名」を、有志・団体で振込みの際には「代表者の卒回と氏名」を記載・ご入力ください。（記載・入力例 38 ツルマルタロウ）
なお、ご入金に際しては、左記あて先にメールで、あるいは東京鶴丸会事務局（本ページ上部に記載）まで郵便か電話でお知らせください。また、本件に関するご質問、ご意見等は、左記あて先にメールにてお願いいたします。

donation868610@gmail.com

東京鶴丸会 最近の主な活動

- | 2017 | 2016 | 2015 |
|-----------------------------|---|---|
| 4月
・会報第20号（本誌）発行 | 6月
・第50回総会・懇親会開催
・第19回渋谷・鹿児島おはら祭り 東京鶴丸連出場 | 12月
・第1回世話人会開催（幹事学年 37 回卒） |
| 12月
・第1回世話人会（幹事学年 38 回卒） | 7月
・第8回ゴルフコンペ開催
・第13回GO鶴セミナー開催 | 4月
・会報第19号発行
・東京鶴丸会50回のあゆみ発行
・新人オリ開催
・第2回世話人会開催（幹事学年 37 回卒） |
| 11月
・鶴ナビ2016開催 | | |

五十回記念プロジェクト報告

東京鶴丸会は、二〇一六年（平成二十八）年六月四日の総会・懇親会で記念すべき五十回目を迎えました。理事会ではこれまでの五十回の歴史を振り返ること、東京鶴丸会の発展に力を注がれてきた諸先輩方の熱き思いを次の世代に伝承し、東京鶴丸会を次の世代に発展に繋げていきたいと考えました。そこで、まずは、東京鶴丸会の歴史の発掘からスタートしました。理事会として伝承された東京鶴丸会の設立当時に関する資料は全くないため、過去の総会・懇親会のパンフレットや関連資料の収集、設立当時を知る関係者へのヒアリングの要望を、世話人会を通じて呼びかけました。また、宗村森信（21回卒）様から総会・懇親会に関する多くの貴重な資料をお借りすることができました。しかし、創設当時の関係者の記憶が曖昧になってきており、資料の情報との整合に非常に手間取りました。第1回～19回については、関係資料の収集がほとんどできずに残念な結果となりましたが、確認できる事実をま



東京鶴丸会 50 回のあゆみ



50 回記念オリジナル扇子

とめ、年表形式の「東京鶴丸会 50 回のあゆみ」を発行することができました。上京してきた卒業生の進路・消息確認を目的として、正式な同窓会活動が一九六一年（昭和三十六）年にスタートしました。さらに、一九八四年（昭和五十九）年には、有志で設立した「新しい東京鶴丸会」のあり方を考える会が中心になって、県立鶴丸高校・東京同窓会（東京鶴丸会）として、理事会に任期制を取り入れた東京鶴丸会のスタイルが確立し、現在に至っています。鶴丸に対する熱き思いが込められた「東京鶴丸会 50 回のあゆみ」を永久保存版としてお持ち頂ければ幸いです。また、五十回の記念品として、オリジナル扇子を製作しました。故富田浩信様（一中：昭和23年卒）からのご厚意である寄付金にて実現したものです。鶴のマークと五十回記念ロゴが入った扇子ですので、いつも携帯して鶴丸の風を感じていただきたいと思います。さらに、平成

二十四年に、校歌「はろばろ」と制定六十周年記念として制作したDVD「今こそ伝えたい！はろばろと誕生物語」を、復刻版としてお届けいたしました。多くの方が初版をお持ちではありませんが、誤植や一部の写真を修正したりリニューアルDVDです。で、保存版として理事会で今後でも伝承していきます。東京鶴丸会は、関東近郊に住まいの鶴丸高校卒業生を中心に会員相互の交流・親睦をはかることを目的として組織されています。今年は、第五二回総会・懇親会としてNext50スタートの年です。更なる東京鶴丸会の飛躍と同窓生の活躍を祈念して五十回記念プロジェクトの理事会報告といたします。



「今こそ伝えたい！はろばろと誕生物語」
初版 2012 年、二版 2016 年

第50回東京鶴丸会会計報告 2015(平成27)年8月1日～2016(平成28)年7月31日

支出		収入	
摘要	金額(円)	摘要	金額(円)
		前年度繰越 ※1	5,031,462
本部会計(会報・同窓会総会案内・本部活動に関するもの)			
第50回総会案内印刷費	576,816	年会費	1,869,000
〃 通信費	330,483	寄付金	176,238
〃 世話人会関連費	115,604	受取利息	594
〃 振替手数料他	112,636	賛助金 ※2	37,455
「はろばろ」と印刷費	32,780		
活動費(渋谷おはら祭・ゴルフコンペ)	70,000		
鹿児島総会関連費	88,680		
ホームページ作成、運営費	238,989	※1 故富田様(一中：昭和23年卒)のご遺志による寄付金1百万円を含む。	
理事会運営費	25,300	※2 50回記念プロジェクトとして記念品・記念号印刷費に使用。なお、DVD制作費とDVD及び扇子賛助金の一部は次年度会計に反映予定	
鶴ナビ・GO 鶴セミナー運営費	35,160		
通信費・振込手数料他	5,940		
50回記念プロジェクト(製作費他) ※2	764,446		
計	2,396,834	計	7,114,749
		本部会計収支差額 ①	4,717,915
幹事学年会計(同窓会総会に関するもの)			
第50回総会会場費	3,393,619	第50回総会会費	3,084,900
〃 運営費	224,808	〃 祝金・寄付金	314,500
〃 プログラム・企画制作費	378,716	〃 広告収入	835,000
〃 幹事会等諸費	133,147	〃 受取利息	71
〃 新卒生親睦会費	107,014	〃 企画賛助金	248,017
計	4,237,304	計	4,482,488
		幹事学年会計収支差額 ②	245,184
		次年度繰越 (①+②)	4,963,099

第五十回記念総会・懇親会「ロクテンヨン・シナガワ」開催御礼

世界中、日本中、今いる場所が「はろばろと」

第五十回東京鶴丸会総会・懇親会 準備委員長 益田 和久(37回卒)

36回卒の先輩方からバトンを引き継ぐ瞬間がきたとき、2つの思いが頭の中を駆け巡りました。同期と一緒にどんな作品が創れるのかなというワクワク感と、第五十回という佳節をどう表現するのかというある種のプレッシャーでした。

最初に力をいれたのが総会テーマの決定です。五十回という佳節であるが故に「東京鶴丸会とは何か」をベースに考えました。その過程で思い出したのが、東京鶴丸会と最初の接点でした。私たちが卒業して上京した頃は「六六会(ろくろくかい)」という呼称で総会・懇親会が設定されており、六月六日は鶴丸の日と覚えていたものでした。今のうちに、メールやSNS、携帯電話もすくなく先輩方の知恵をここに原点を見出し、開催日時と場所を絡めて「ロクテンヨン・シナガワ」としました。同期の中でも、このテーマを常に声に出して、文字にして、徹底共有しました。おそらく一生忘れることはないかなと思っています(笑)

また、以前より総会・懇親会に参加する度に感じていたのが「校歌」の魅力。七百人近い老若男女が、校歌斉唱のときに一瞬で一つになれること。そんな力をもった校歌「はろばろと」の下に、東京を発信拠点として、世界や全国各地に羽ばたいた方々とつながりたいとの想いから、サブテーマとして「worldwide HAROBAROTO」と銘打ちました。

そして「五十回」という意義づけを、「これまでお互いに充たしてきた『互充(ごじゅう)』」と、「これから娯楽(ごじゅう)を重ねたい娯楽(ごじゅう)として」「これまでの振り返り」と、「これからの取り組み」を表現する節目としようということになりました。

「これまで」については、世代を超



えた混声合唱団や「鶴丸歴史観」と称した卒業アルバムや東京鶴丸会の会報の展示、応援歌「蒼天翔ける」の誕生ヒストリーの紹介を行いました。サブテーマの「worldwide HAROBAROTO」については、全世界・全国で活躍する同窓の方々の案内パンフレットや総会当日のインターネット中継で紹介をさせていただきました。

記念グッズだけ買えないか」といった声が寄せられていました。そこで、協賛企業さんと連携し、当日会場に物販ブースを設け、さつま揚げやかん等の鹿児島名産品の販売も行いました。幹事学年作製のオリジナルグッズや、鹿児島向けに東京鶴丸会専用旅行バックのインターネット販売も行いました。どちらも、ご利用いただいた方々からは、お褒めの言葉を数多く頂戴しました。最終的には六五〇名近い方々に参加をいただき、大盛況で総会・懇親会を終えることができました。

幹事学年の一年間は、理事会や各回卒の世話人をはじめ、多くの同窓のみなさまに御協力をいただき、いろいろなことにチャレンジすることができました。同期の強い絆を築くことができました。同期の強い絆を築くことができました。同期の強い絆を築くことができました。

間違った「ワクワドキドキのオトナ」の部活は、同期全員がそれぞれ、かけがいのない「PRICELESS」なものを得て終了することができたと思えます。東京鶴丸会のみなさまは勿論のこと、苦楽を共にしてきた37回卒の同期、またそれを支えてくれた(私たち37回卒の)家族にも心から感謝したいと思えます。大変にありがとうございました。

東京鶴丸会ゴルフ会について

前回(第8回)は2016年7月に千葉県の実名カントリークラブで開催し、33名の参加がありました。恒例の前夜祭も実施しました。

優勝は宮園猛さん(25回)、準優勝は西園裕一さん(33回)、第3位は田中和義さん(26回)でした。宮園さんは2回目の優勝です。



今回の案内です。

開催日：2017年10月28日(土)

会場：大熱海国際ゴルフクラブ(静岡県)

お問合せ：tokyo.tsurumaru.golf@gmail.com まで。

また、11月に群馬県の太田双葉カントリークラブにて甲南高校、玉龍高校の卒業生との第1回交流戦が行われ、鶴丸からも20名参加しました。同郷人の親睦イベントとして、こちらも続けていければと思います。

渋谷・鹿児島おはら祭



東京鶴丸連は、渋谷道玄坂・文化村通りで開催される「渋谷・鹿児島おはら祭」に、第1回から連続出場してまいりました。

2010年はグランプリ、2013年には県知事賞を受賞！6月開催となった第19回の昨年は、過去最大87名で踊りパレードに参加！パレードメンバー以外のサポーターも含めると総勢95名が参加しました。当日は沿道からの温かい声援や激励の中、揃いの祭化装と鶴がデザインされた法被の装いで、繊細に舞い踊りました。

2017年も5月21日(日)開催の第20回「渋谷・鹿児島おはら祭」に参加します。引き続き皆様のご支援とご参加をお待ちしております！

※お問い合わせは tkytsurumaruren.ope@gmail.com まで

GO 鶴セミナーへのご協力お礼とお願い

二〇一六年度の第十三回「GO 鶴セナー」(先輩に学ぶ職場訪問)が七月十四日に開催されました。今回は三九の企業・団体等の皆さまにご参画いただきました。ご協力、ご尽力に改めてお礼申し上げます。

東京鶴丸会の行事の中で最も鶴丸高校へ貢献できているものの一つであるGO 鶴セミナーですが、今回も、〇「修学旅行の中で一番学ぶことの多い充実した時間となった」
〇「今まではつぎりとイメージでできていなかった社会で働くということを深く考えるきっかけとなった」
〇「より一層鶴丸の伝統を肌で感じることでできた」等

の感想が生徒達から寄せられています。二〇一七年度のGO 鶴セミナーは七月十三日(木)に開催されます。後輩達のためにできるだけ多くの、多様な訪問先を確保したいと考えております。二〇一六年度にご協力いただきました企業・団体等の皆さまには、時期が参りましたら東京鶴丸会からお声かけさせていただきます。新に訪問先となつていただける場合は、「東京鶴丸会公式ウェブサイト」はろばろと」内にございます「事務局へのお問い合わせ」からお申し出いただけますと幸甚です。OB、OGの皆さまのご協力を宜しく願ひいたします。



- 2016 年度 受入事業所(五十音順)
- 01 あさひ法律事務所
 - 02 (株)エクスネット
 - 03 (株)NUC
 - 04 (株)OKI プロサーブ
 - 05 キヤノン(株)
 - 06 共同通信社
 - 07 空想科学研究所
 - 08 厚生労働省
 - 09 國學院大學経済学部
 - 10 (株)コスモスイニシア
 - 11 五洋建設(株)
 - 12 清水建設(株)
 - 13 順天堂大学(浦安病院)
 - 14 (公社)消費者関連専門家会議
 - 15 スリーエム ジャパン(株)
 - 16 宗村法律事務所
 - 17 大成建設(株)
 - 18 中外製薬(株)
 - 19 (株)電通
 - 20 東京学芸大学
 - 21 東レ・ダウコーニング(株)
 - 22 長島・大野・常松法律事務所
 - 23 (株)日建設計
 - 24 (医)日心会総合病院一心病院
 - 25 日本アイ・ビー・エム(株)
 - 26 (一財)日本規格協会
 - 27 日本航空(株)
 - 28 農林中央金庫
 - 29 野村證券(株)
 - 30 一橋大学
 - 31 (株)フォトシンス
 - 32 富士通フロンテック(株)
 - 33 (株)ベネッセコーポレーション
 - 34 (株)三菱東京 UFJ 銀行
 - 35 (株)みんなのウェディング
 - 36 明治大学理工学部
 - 37 森・濱田松本法律事務所
 - 38 (税)山田&パートナーズ
 - 39 ロイエンス&ルフ

就職活動を開始する大学生、大学院生のみなさんへ 就職活動支援セミナー『鶴ナビ二〇一七』を 今秋も開催します！

これまでの自分の人生を振り返り、今後の人生を考える『就職活動』。大学生・大学院生のみなさんは、「何から始めようか・・・」と漠然とした不安を抱えている方も多いと思います。東京鶴丸会では、そんな方々を強力にサポートします。各界で活躍する鶴丸のOB、OGの協力の下、就職活動中の方を対象にしたセミナー『鶴ナビ』を二〇一〇年からスタート致しました。

その内容は、他の就活セミナーと比べても充実したものになっています。鶴丸34回卒でキャリア構築のエキスパートの垂水さんと、鶴丸38回卒で就職対策の専門学校で講師を務めていた角倉裕之さんのダブル講演。企業の最前線で活躍されている先輩諸氏が業界別にテーブルに分かれて学生と話をする座談会など、就職活動をする学生にとって非常に貴重な場になっています。

昨年は、十一月十二日(土)に開催。二十三名の学生とほぼ同数の社会人も参加して行われました。参加者のアンケートを見ると、お二人の講話には「就職活動というものに対する考え方と、具体的なスキルその両方が学べる場で今後大いに役にたつと思つた」など、「参加してよかった!」という喜びのコメントが多く見られました。また、学生の希望職種も考慮して先輩



方と語り合う座談会は、「様々な業界の社会人の方と話すことができて、視野が広がった。」とか「高校の先輩ということでも、とても親身になってくださり、普通のセミナーとは全く違う雰囲気でした。」など、先輩と後輩が語り合う「鶴丸愛」が溢れる場を感じたコメントが多数を占めました。

総評としては、「高校の先輩にこれだけの方々がいらつしやるのがわかり、心強いです。」「自分の内面を見返すことや就職活動について大切な話を聞けたと思います。」と言つた声をいただき、好評でした。

鶴ナビは、過去学生として参加したOB、OGが、今度は社会人として協力、参加しています。都市銀行に就職した方からは、「自分の就活のスタートがこの鶴ナビで、その時に聞いた話、親切にくれた先輩に本当に感謝している。だから今度は自分が鶴丸の後輩に同じよう言葉を貰いました。十回目となる二〇一七年も、秋(十・十一月頃)の開催を予定しています。詳細は東京鶴丸会のホームページで、六月十日(土)の東京鶴丸会総会・懇親会の会場でも、案内チラシの配布や参加の申し込み受付を行います。次回も、学生、そして社会人のみなさんの参加を、お待ちしております！